



# OMIYA ARDIJA MEMBERS

①生年月日 ②身長/体重 ③利足 ④出身地 ⑤前所属

<p><b>監督</b> Tetsu NAGASAWA</p> <p><b>長澤 徹</b> ①1968/11/28 ②愛媛県 ③京都</p> <p>油断、慢心を許さず、何ごとにも真っすぐ向き合う熱血漢は、選手一人ひとりと向き合うことを大切に。つねに海外サッカーのトレンドをチェックするなど研究熱心でもある。</p>	<p><b>1 GK</b> Takashi KASAHARA</p> <p><b>笠原 昂史</b> ①1988/11/21 ②191/88 ③右 ④埼玉県 ⑤長崎</p> <p>長い手足を生かしたシュートストップと安定感あるセービングが武器で、J3ではバ抜けた能力を持つ守備しき守備手。第27節・松本戦でJリーグ通算250試合出場を達成した。</p>	<p><b>4 DF</b> Rion ICHIHARA アカデミー出身</p> <p><b>市原 吏音</b> ①2005/7/7 ②187/81 ③右 ④埼玉県 ⑤大宮U18</p> <p>競り合いの強さと正確かつ確かなビルドアップを武器に、プロ1年目からディフェンダーとして最終ラインを統率。世界を見据える男は、28年のロサンゼルス五輪の主軸候補である。</p>	<p><b>5 DF</b> Niki URAKAMI アカデミー出身</p> <p><b>浦上 仁騎</b> ①1996/11/11 ②174/68 ③右 ④茨城県 ⑤甲府</p> <p>鋭い読みと対人の強さで守備を支え、機敏な攻撃や正確なフィードも特長。第23節・宮崎戦でアーリークロスから先制点を演出したように、今季はアシストでも存在感を発揮。</p>	<p><b>6 MF</b> Toshiki ISHIKAWA アカデミー出身</p> <p><b>石川 俊輝</b> ①1991/7/10 ②174/68 ③右 ④埼玉県 ⑤甲府</p> <p>奪って、拾って、運べる中盤の掃除屋は、今季からキャプテンとしてもチームをけん引。謙虚な性格で多くは語らずとも、プレーで魅せ、再中での語り、仲間からの信頼を集めている。</p>	<p><b>7 MF</b> Masato KOJIMA アカデミー出身</p> <p><b>小島 幹敏</b> ①1996/9/17 ②178/73 ③左 ④埼玉県 ⑤甲府</p> <p>天才肌のファンタジスタで、誰もが憧れる才能の持ち主。抜群のパスセンスをけん引。今季はミドルシュートの精度と威力も向上中。9月は5試合2得点3アシストの大活躍。</p>	<p><b>9 FW</b> NEW Fabian GONZALEZ</p> <p><b>ファビアン・ゴンザレス</b> ①1992/11/23 ②187/80 ③右 ④コロンビア ⑤甲府</p> <p>強さとしなやかさを兼ね備えた点取り屋。ダイナミックにボールを運んだかと思えば、エリア内では柔らかいボールタッチで相手を翻弄。柔と剛を組み合わせ、どこからでもゴールを狙う。</p>	<p><b>13 MF</b> Rin YAMAZAKI アカデミー出身</p> <p><b>山崎 倫</b> ①2003/5/20 ②175/60 ③右 ④東京都 ⑤大宮U18</p> <p>トップスピードに乗るまで時間が短く、そのスプリント力はチームでもトップクラス。前半戦は負傷に苦むも、状態が整えば切り札になれる存在。愛くらしき満点のキャプテンも外せない。</p>	<p><b>14 MF</b> Toya IZUMI</p> <p><b>泉 柊輝</b> ①2000/12/2 ②174/62 ③右 ④大阪府 ⑤山形</p> <p>開幕戦で2ゴールを挙げ鮮やかなデビューを飾った。自他ともに認めるドリブラーは現在ウイングバックにもトライ中。守備力を向上させながら、切れ味鋭いドリブルを磨いている。</p>	<p><b>16 DF</b> Yuta UEDA</p> <p><b>植田 悠太</b> ①2004/7/16 ②173/65 ③左 ④滋賀県 ⑤京都</p> <p>プロ2年目の若き左SBは、積極果敢なオーバーラップと正確な左足のキックが代名詞。練習後は、コーチやチームメイトを捕まえクロスでの居残り練習をするのが、欠かせない日課である。</p>	<p><b>17 MF</b> Katsuya NAKANO</p> <p><b>中野 克哉</b> ①1998/9/13 ②186/63 ③左 ④奈良県 ⑤今治</p> <p>独特のテンポとリズムをもつレフティは、サイドでも中央でもプレーが可能。チームの幅を広げる存在である。性格は底抜けに明るく、生粋の関西弁でプレーできる器用さも併せ持つ。</p>	<p><b>20 DF</b> Wakaba SHIMOBUCHI</p> <p><b>下口 稚葉</b> ①1998/5/2 ②178/73 ③右 ④福井県 ⑤今治</p> <p>岡山時代に指揮官の薫陶を受け、長澤徹イズムを誰よりも深く理解して先陣で体現する存在である。性格は底抜けに明るく、生粋の関西弁でプレーできる器用さも併せ持つ。</p>
<p><b>21 GK</b> Yuki KATO アカデミー出身</p> <p><b>加藤 有輝</b> ①1997/9/20 ②188/81 ③右 ④埼玉県 ⑤北九州</p> <p>アルティマに愛されるGKは、今季4年ぶりに大宮に復帰しピッチ内外でチームを盛り立てる。躍動感あるセービングでピンチを救い立てて鼓舞。地元・伊奈町の魅力大使を務める。</p>	<p><b>22 DF</b> Rikiya MOTEGI</p> <p><b>茂木 力也</b> ①1996/9/27 ②176/72 ③右 ④埼玉県 ⑤愛媛</p> <p>笑顔のガッツマンはスタミナとフィジカルでサイドを制圧し、抜群の跳躍力で空中戦でも強さを発揮する。FKキッカーを務める機会も増え、無回転シュートは大きな可能性を秘める。</p>	<p><b>23 FW</b> Kenyu SUGIMOTO</p> <p><b>杉本 健勇</b> ①1992/11/18 ②187/79 ③右 ④大阪府 ⑤横浜FM</p> <p>圧倒的な存在感を誇るエース。左右両足に頭と得点パターンを築き、第31節時点でチームトップの9ゴール。豪快な一撃で幾度もチームを勝利に導く。狙いは残り試合「全部勝って優勝」。</p>	<p><b>25 DF</b> NEW Tetsuya CHINEN</p> <p><b>知念 哲矢</b> ①1997/1/18 ②178/70 ③左 ④沖縄県 ⑤仙台</p> <p>攻守でアクセンになれるCBは、得意の左足でビルドアップと気の利いた前線に積極的に攻撃参加。守っては高さ強さでチームに安心感を与える。J3優勝、J2昇格へのラストピースとなる。</p>	<p><b>26 DF</b> Mizuki HAMADA</p> <p><b>濱田 水輝</b> ①1990/5/18 ②186/83 ③右 ④アメリカ ⑤岡山</p> <p>フィールドプレイヤーでは高山とともにチーム最年長。チームを俯瞰して見れるCBは練習から手を抜かずに取り組み、出番が来れば、高さ強さと読みを生かして自らの役割を全うする。</p>	<p><b>28 FW</b> Takamitsu TOMIYAMA</p> <p><b>富山 貴光</b> ①1990/12/26 ②170/63 ③右 ④栃木県 ⑤北九州</p> <p>誰よりもチーム思いのストライカーは、復帰後は庄巻のバウンスでゴールを量産。超J3級のボール奪取力とミドルシュートの両刀でゲームを決め、チームに歓喜をもたらす。</p>	<p><b>30 MF</b> ARTHUR SILVA</p> <p><b>アルトゥール・シルバ</b> ①1995/4/26 ②180/80 ③右 ④ブラジル ⑤富山</p> <p>シーズン序盤こそゲガが出遅れたが、復帰後は庄巻のバウンスでゴールを量産。超J3級のボール奪取力とミドルシュートの両刀でゲームを決め、チームに歓喜をもたらす。</p>	<p><b>31 MF</b> Raisel ABE アカデミー出身</p> <p><b>阿部 来誠</b> ①2004/12/17 ②170/63 ③右 ④東京都 ⑤大宮U18</p> <p>U12からアルティマに所属した。昇格2年目でたくましく増す中盤のオールラウンダーは、練習から愚直に取り組み、持ち前の攻撃センスに加えフィジカルも強化中。</p>	<p><b>33 DF</b> NEW Takaya WADA</p> <p><b>和田 拓也</b> ①1990/7/28 ②176/72 ③右 ④神奈川県 ⑤横浜FC</p> <p>何でもできるバランサーはピッチ中央に構え、ボールを奪って良し、動かしも良しで、サッカーの「勘どころ」をよく知っている。第30節・相模原戦では芸術的な古巣復帰後初ゴールを決めた。</p>	<p><b>34 DF</b> Yosuke MURAKAMI アカデミー出身</p> <p><b>村上 陽介</b> ①2002/2/4 ②176/72 ③右 ④東京都 ⑤明治大</p> <p>空中戦と対人の強さを生かし大卒1年目はなかなか多数の試合に絡むCBは、攻撃面の向上に意欲的に取り組んでいる。大宮U18時代にはU-17ワールドカップに出場した経験の持ち主。</p>	<p><b>35 MF</b> Yusuke SHIMIZU</p> <p><b>清水 祐輔</b> ①2001/5/13 ②176/72 ③右 ④埼玉県 ⑤東洋大</p> <p>背筋がピンと伸びた姿勢から繰り出されるスルーパスは一品。ルーキーイヤーは主にカップ戦で経験を積んでいる。中盤のライバルは強烈だが、司令塔タイプとして貴重な存在である。</p>	<p><b>37 DF</b> Kaishin SEKIGUCHI アカデミー出身</p> <p><b>関口 凱心</b> ①2001/9/24 ②181/72 ③右 ④埼玉県 ⑤山梨学院大</p> <p>多くのポジションをできるポリバレンツが武器ではあるが、今季はSBでの起用がメイン。攻守両面のプレー水準が高ブレクを予感させる。中学時代は大宮U15に所属していた。</p>
<p><b>38 DF</b> Shunya SUZUKI</p> <p><b>鈴木 俊也</b> ①2000/11/24 ②178/73 ③左 ④静岡県 ⑤早稲田大</p> <p>大学2年時から加入が内定していた期待の左SB。SBだけでなくCBとウイングバックもこなせるアタリは、持ち味のクロスとフリードリを研ぎ澄ませ、虎視眈々とポジション確保を狙う。</p>	<p><b>39 MF</b> Jin IZUMISAWA</p> <p><b>泉澤 仁</b> ①1991/12/17 ②165/65 ③右 ④千葉県 ⑤甲府</p> <p>Mr.「ゼロヒャク」と言えば、大宮ファンならず、Jリーグファンにも伝わる生粋のドリブラー。左サイドで自分の闘いを持って無双状態に突入する。大宮での背番号はずっと39番。</p>	<p><b>40 GK</b> Ko SHIMURA</p> <p><b>志村 滉</b> ①1996/4/27 ②186/80 ③右 ④千葉県 ⑤北九州</p> <p>一つひとつのプレーから安心感が漂うGK。最後の審判としてのゲームマネジメントがうまく、大膽なことはほとんどない。一発キッカーとしてもポジションを確立する盛り立て役。</p>	<p><b>42 FW</b> Kazushi FUJII</p> <p><b>藤井 一志</b> ①2001/9/30 ②174/72 ③右 ④兵庫県 ⑤東海大</p> <p>万能型のストライカーは、大卒1年目ながら主軸に成長し、夏の中断までゴールを記録。先発でも途中出場でも自らの仕事を全うし、チームのために走り、冷静にネットを揺らす。</p>	<p><b>49 FW</b> Tomoya OSAWA アカデミー出身</p> <p><b>大澤 朋也</b> ①2002/9/16 ②175/72 ③右 ④埼玉県 ⑤愛媛</p> <p>泥臭い仕事をクールにこなすアタッカーの献身性はチーム屈指。体を張りボールを取ったかと思えば、被カッター時には誰よりも速く戻る。攻守両面で幅を広げられる存在だ。</p>	<p><b>50 GK</b> Manabu WAKABAYASHI</p> <p><b>若林 学歩</b> ①2004/3/10 ②196/83 ③右 ④東京都 ⑤狭山ヶ丘高</p> <p>大化けの可能性をアンプンと匂わせる守護神は、日本人離れしたエネルギーはセーブが最大の特長。スタイルはモデル級で髪型は頻りに変わり、ブレクダンスが特技である。</p>	<p><b>90 FW</b> NEW Oriola Sunday</p> <p><b>オリオラ・サンデー</b> ①2004/4/18 ②178/68 ③右 ④ナイジェリア ⑤八戸</p> <p>身体能力に優れたストライカー。一瞬でトップギアに入るスピードを武器に相手の裏を取り、ハネのようなジャンプ力でロングボールをコントロール。積極果敢にゴールに迫る。</p>	<p><b>43 MF</b> NEW 特別指定選手 アカデミー出身 Kota NAKAYAMA</p> <p><b>中山 昂大</b> ①2002/7/16 ②187/78 東洋大所属</p>	<p><b>47 DF</b> NEW 特別指定選手 アカデミー出身 Hirotaki SAITO</p> <p><b>斉藤 秀輝</b> ①2006/5/12 ②179/70 大宮U18所属</p>	<p><b>44 DF</b> NEW 特別指定選手 アカデミー出身 Keita FUKUI</p> <p><b>福井 啓太</b> ①2002/5/19 ②180/77 筑波大所属</p>	<p><b>48 FW</b> NEW 特別指定選手 アカデミー出身 Mark ISOZAKI</p> <p><b>磯崎 麻玖</b> ①2006/5/26 ②192/80 大宮U18所属</p>	<p><b>マスコット</b> ALDY ①1998/12/4 ④大宮公園 クラブ開設時から活躍する。人懐っこく好奇心旺盛な性格の男子の子。</p> <p><b>マスコット</b> MIYA ①2008/3/8 元気いっぱいでおうちこいっで、もちよっどけが強い女の子。</p>

### MATCH SCHEDULE

部	日	時	KICKOFF	対戦相手	HOME	AWAY
1	2/24	(土)	4:01	八戸	HOME	AWAY
2	3/2	(土)	1:00	岐阜	HOME	HOME
4	3/16	(土)	2:00	奈良	HOME	AWAY
5	3/20	(水祝)	1Δ1	相模原	AWAY	AWAY
6	3/23	(土)	3:01	宮崎	HOME	HOME
7	3/31	(日)	1Δ1	北九州	AWAY	AWAY
8	4/6	(土)	1:00	FC大阪	HOME	AWAY
9	4/10	(水)	1:00	YS横浜	AWAY	AWAY
10	4/14	(日)	1Δ1	沼津	HOME	HOME
3	4/21	(日)	2:01	福島	AWAY	AWAY
11	4/27	(土)	4:01	今治	AWAY	HOME
12	5/3	(金祝)	3:00	鳥取	AWAY	AWAY
13	5/6	(月祝)	0:2	松本	HOME	HOME
14	5/18	(土)	2:00	讃岐	AWAY	HOME
15	6/1	(日)	4:01	長野	HOME	AWAY
16	6/9	(日)	1:00	金沢	AWAY	HOME
17	6/16	(日)	1Δ1	富山	AWAY	HOME
18	6/22	(土)	3:02	琉球	HOME	岐阜
19	6/29	(土)	2:00	岩手	HOME	富山

### MEIJI YASUDA J3 LEAGUE STANDINGS

第31節終了時点 最新の順位はこちら

順位	チーム	勝	分	負	得点	失点	差
1	大宮アルディージャ	13	7	2	37	19	18
2	FC今治	5	17	6	28	31	17
3	カターレ富山	5	11	12	25	41	16
4	ギタラツFC北九州	4	13	9	31	28	5
5	アルカディアFC	4	11	12	27	37	10
6	福島ユナイテッドFC	4	11	13	27	38	9
7	FC大阪	4	11	12	8	32	7
8	松本山雅FC	4	11	11	9	45	38
9	SC相模原	4	11	10	31	31	0
10	ヴァンラーレ八戸	4	11	9	11	34	0
11	ツエーゲン金沢	4	11	9	11	44	-5
12	FC琉球	4	11	8	12	38	-4
13	ガイナーレ鳥取	4	11	7	13	36	-4
14	FC岐阜	3	10	6	15	44	-8
15	カマタマーレ讃岐	3	11	12	28	39	-1
16	AC長野パルセイロ	3	11	12	23	48	-9
17	テゲブジャ・ロ宮崎	3	11	9	14	34	-9
18	YS.C.C.横浜	3	11	7	10	27	-4
19	奈良クラブ	3	11	11	15	37	-5
20	FC今治	2	11	14	16	58	-36

### PICK UP PLAYER



**FW 90**  
オリオラ サンデー  
ORIOLA SUNDAY

Q & Aコーナー

Q. ニックネームは？  
A. Saheed

Q. 背番号へのこだわりは？  
A. 高校のときの番号

Q. 好きな食べ物？  
A. とんかつ

Q. 自分のプレーの特徴、武器は？  
A. スピード、強さ

Q. 自分の性格を一言で表すと？  
A. おもしろい

Q. 好きなテレビ番組 or YouTubeチャンネルは？  
A. ナイジェリアのコメディ

Q. 好きなマンガ、アニメは？  
A. NARUTO

Q. 自分への褒め言葉は？  
A. 焼肉

### 競争激しいポジションで存在感を放つストライカー

7月上旬に追加登録され、8月の金沢戦で加入後初ゴールを含む2得点を決めた。古巣対決となった第29節の八戸戦でも、先制ゴールをたたき込んでいる。「みんなのプレーは分かっているし、自分ができることも分かっている。FWにはいい選手がそろっていて、一緒に試合に出たり練習できたりして、勉強になることばかりです」

自分の思いを、日本語で一生意気に伝える。外にあることがあれば、すぐに聞く。ピッチ外での意欲的な姿勢が、ピッチ内の好パフォーマンスにつながっているのだ。

ディフェンスにも献身的だ。「そりしないと試合に出られないから」と笑う。「もともとは守備がそんなに好きじゃなかったけど、インさん(八戸・石崎監督)も皆さんも守備が大事だからと教えてくれた。ちょっとはうまくできたかな」

サンデーは誰に対してもフレンドリーで、ファン・サポーターの人気も高い。「試合だけでなく練習にもたくさんの方が来てくれて、ホンマにありがとうございます。みんなが見てくれるから、もっと頑張りたいと思うし、もっと頑張らなきゃあかんと思うんです」

NACK5スタジアム大宮の雰囲気も「ホンマにすばらしい」とうれしそうに話す。「みんなめっちゃ応援してくれるから、負ける気がしない。勝つしかないです」という舞台で、チームの勝利につながるゴールを決めてみせる。(戸塚 啓)

### PICK UP PLAYER



**DF 37**  
関口 凱心  
Kaishin SEKIGUCHI

Q & Aコーナー

Q. ニックネームは？  
A. かいしん

Q. 背番号へのこだわりは？  
A. 特別指定のときの番号が気に入っている

Q. 自分のプレーの特徴、武器は？  
A. 左右のキック、1対1

Q. 過去対戦してもっとも衝撃を受けた選手とその理由  
A. 乾貴士選手/常にゴールを狙っていた

Q. 自分の性格を一言で表すと？  
A. マイペース

Q. 好きなテレビ番組 or YouTubeチャンネルは？  
A. レイクレ

Q. マイブーム・趣味は？  
A. サ活、スタバ

Q. 自分への褒め言葉は？  
A. スイーツを食べる

### 同期に刺激を受けながら成長を続ける大卒ルーキー

4月にシーズン初出場を飾ったが、5月上旬から8月まではリーグ戦では出番が途切れてきた。しかし、9月7日の松本戦で3度目のリーグ出場を果たすと、このところは試合に絡む回数が増えている。「後半のキツい時間に入ることが多いので、そこでチームを助けられるプレーができたらと思っています。なおかつ、失点をしないことも意識しています」

途中出場の役割をしっかりと果たしたのが、第28節の北九州戦だった。75分からピッチに立ち、ダメ押し点を決めた。「小さいころから憧れの舞台だったNACK5スタジアム大宮で、しかもファン・サポーターの皆さんが多いゴール側で決められたのが、すごくうれしかったです。少し自信につながりました」

村上、清水、藤井の同期加入の大卒ルーキーは、互いを刺激し合う存在だ。「負けられない気持ちは当然あります」と話しつつ、「それだけが良さを示して、チームに少しでも貢献できたら」と話す。

チームは日々の練習から細部にこだわり、目標に近づいていった。関口も自身の成長を感じることができている。「一日、一日の練習から勝負で、その練習が試合に出ている。試合のほうはちょっと余裕を感じるというか、練習でやっていることがそのまま出ているような。僕自身も一日一日を全力でやっています」

背番号37は右サイドを駆け抜ける。ひたむきに、チームのために、一瞬たりとも気持ちをおろさず。(戸塚 啓)

### 対戦相手情報

#### FC今治

第33節 10.19(土) 14:00 Kickoff

今季就任した寺田周平監督はピッチ中央から縦パスやドリブルで相手を崩し、果敢にゴールを狙うサッカーを展開。第11節・岩手戦では9得点を挙げたなど、一度火が付くと止まらない攻撃力を持ち味。第31節・岐阜戦も4-3と打ち合いを制している。観客を魅了する攻撃サッカーで勝点奪取を狙う。(小林 健志)

#### FC今治

第33節 10.19(土) 14:00 Kickoff

元日本代表・服部年宏監督の下、チームが体現するのは攻守両面でハードワークを欠かさない実直かつエネルギー溢れるスタイル。前線からの強度の高い守備で相手を追い詰めることに、攻撃に転じればスピードのあるアタッカー陣が一気に躍動。セットプレーでの得点力も高く、膠着する接戦にも強い。(松本 隆志)

#### MF 14 大関 友翔

Yuto OZEKI

川崎FCから期限付き移籍加入すると、左インサイドハーフとしてドリブルやパスで決定機を数多く演出し、攻撃の核にU-19日本代表では背番号10を背負い、市原吏音ともチームメート。

#### FW 10 マルクス ヴィニシウス

MARCUS VINICIUS

はずむゴム感のように躍動し、チームに大きな推進力をもたらすエース。キレのあるドリブルを生かした突破力とパンチ力のある左足が武器。空中戦でも強みを見せ、あらゆる場面でどんどんゴールへ迫る。

### 第22回大宮アルディージャ絵画コンテスト 10/13・福島戦 Wエリアコンコースで応募いただいた全作品を展示!



監督 長澤 徹

GK 1 笠原 昂史

DF 4 市原 吏音

DF 5 浦上 仁騎

MF 6 石川 俊輝

MF 7 小島 幹敏

FW 9 ファビアン・ゴンザレス

MF 13 山崎 倫

MF 14 泉 柊輝

DF 16 植田 悠太

MF 17 中野 克哉

DF 20 下口 稚葉

GK 21 加藤 有輝

DF 22 茂木 力也

FW 23 杉本 健勇

DF 25 知念 哲矢

DF 26 濱田 水輝

FW 28 富山 貴光

MF 30 アルトゥール・シルバ

MF 31 阿部 来誠

DF 33 和田 拓也

DF 34 村上 陽介

MF 35 清水 祐輔

DF 37 関口 凱心

DF 38 鈴木 俊也

MF 39 泉澤 仁

GK 40 志村 滉

FW 42 藤井 一志

FW 49 大澤 朋也

GK 50 若林 学歩

FW 90 オリオラ・サンデー